



2026年5月15日

各位

名古屋市中村区亀島二丁目13番8号
明治電機工業株式会社
代表取締役社長 杉脇弘基
(コード番号: 3388 東証プライム市場)
問合せ先: 企画管理本部長 成瀬克久
(TEL 052-451-7661)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について改めて現状分析を行い、今後の取り組みについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社のROEは昨年と同等の水準で推移しております。また、PBRは長期にわたり1倍を下回っており、継続した市場からの評価及びPBR向上に向けて取り組んでまいります。

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高 百万円	67,749	70,947	74,580	78,672	76,360
営業利益 百万円	2,008	2,724	2,914	3,294	3,670
経常利益 百万円	2,439	3,050	3,332	3,596	4,090
親会社株主に帰属する 当期純利益 百万円	1,780	2,191	2,426	2,435	2,844
営業利益率 %	3.0	3.8	3.9	4.2	4.8
ROE %	6.9	7.8	7.8	7.3	7.9
期末株価 円	1,030	1,209	1,573	1,505	2,010
PBR 倍	0.48	0.52	0.61	0.56	0.68

2. 改善に向けた方針

現状評価を踏まえ、当社は第11次中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）に基づき、収益力強化を継続してまいります。これにより株主や投資家の皆様から適切な評価をいただき、PBRの改善を図ってまいります。

3. 改善に向けた取り組み

(1) 収益力強化

第11次中期経営計画における下記方針を推進し、収益力の向上に取り組んでまいります。

① 事業品質向上

- ・各地域における事業品質（安全、品質）の向上
全社横断で安全と品質の向上を推進する＝エリアNo.1の安全・品質の実現
（エンジニアリングビジネス、部材ビジネスの安全、品質向上）。

② 成長投資と収益力強化

- ・成長領域への人的投資
エリア毎にポテンシャル及び収益性の高いビジネス領域へリソースを投入。
- ・生産性向上

労働付加価値生産性向上に向けた社内DXの推進。

- ・コアビジネスの強化と全エリアへの展開

高い安全、品質によるエンジニアリングビジネス、部材ビジネスの推進と全社展開による収益力の向上。

専門性の高いスキルによるエリア No. 1 の提案力と訴求力の向上。

- ・海外ビジネスの拡大

グローバル化するものづくりのサポートのための組織力強化。

③ サステナビリティ推進

- ・事業を通じた社会課題への貢献

労働力人口減少に向けた更なる自動化、省人化提案の強化。

脱炭素ビジネスの推進（ものづくりにおける環境負荷低減支援）及び自社カーボンニュートラルの推進。

- ・サステナビリティ経営推進

人的資本強化に向けた人事制度改定、教育プログラムの見直し。

サステナビリティ推進体制の整備。

(2) 株主還元の充実（配当方針）

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけ、連結配当性向40%を目処として、将来の持続的成長に必要な内部留保の充実を図りながら、配当を行うことを基本方針としております。

また、第11次中期経営計画の残り期間（2026年3月期～2027年3月期）においては、1株当たり年間配当金の下限値を年間88円といたします。

(3) IR活動の充実

株主・投資家との対話機会の増加や当社事業活動の積極的な情報開示に努めてまいります。また財務情報に加えて非財務情報についても開示を充実してまいります。

以 上